

取組名	対馬国有林の利活用方法等の検討について	
署等名	長崎森林管理署	
取組を行う背景・経緯	対馬国有林の各地域(龍良山・有明山風景林・白岳・御岳)には、地元住民や国内・外の観光客等が入山しているが、これらの林内や歩道には枯損木等が多いことから、事故を防止し入山者の安全を確保するため、関係地方団体や自然保護団体との連携の下、枯損木の伐採や歩道の整備等と併せ、入山に関する一定のルール化等を検討する。	
取組の概要	平成 21 年度に開催した 2 回の検討会をふまえ、それぞれの対象地域における国有林の利活用、対馬市や地元自然保護団体等との役割分担等に関するルール化等を検討する。	
期待される効果・成果	信仰の森林であることの故をもって、危険性の高い枯損木等の伐採・除去もできない一部地域もあるため、それぞれの立場から参画した検討会委員のコンセンサスを得た中で、最小限の役割分担やルール化等を図ることにより、国民の森林としての役割発揮や入山者の安全確保に寄与する。	